



内田 精彦 議員

## 質問 移動販売車による 奥地販売の推進を

町長 取り扱い品の縛り等あるが、  
検討する



サロンのあと買い物を楽しむ高齢者



移動販売車の準備

**質問** 移動販売・宅配支援事業の概要は。

地域振興課長 移動販売・宅配支援事業は、車両及び備品購入に2分の1以内の補助、運営に要する燃料費などで1年目10万円、2年目8万円、3年目6万円の支援がある。対象は食糧品と日用品の両

方を取り扱うことが条件だ。

**質問** 食料品と日用品の取り扱いの規制があるがハードルを下げて、移動販売車による奥地販売を推進する事はできないか。

町長 移動販売地域を横田地域はほぼ全域カバーされているが、仁多地域の布勢と三沢地区は空白地域であり、取り扱い品などの縛りはあるが、検討する。

### 火災発生について

**質問** 消防署からの火災発生連絡を、有線放送にて放送する時間の想定は。

総務課長 通常であれば1、2分で放送できる。

**質問** 火災発生後時間がかかる場合がある。消防署からの火災発生連絡を有線放送設備に直結し放送できないのか。

町長 直結設備につ

いては雲南市で運用されている。設備を導入するには多額の経費がかかることか

### 災害体制について

**質問** 台風21号による大雨で開設された避難所開設の経緯は。

町長 町内9カ所の避難所への避難者はなかった。

町長 午後5時ごろ両庁舎に担当職員に待機体制を指示、その後大雨警報と同時に災害準備体制に切り替えた。河川の水位や気象庁の雨量及び雨量予測、町内の被害情報等を総合的に判断し、身の危険を感じ自主的に避難される皆さんを受け入れるため避難所を開設した。

**質問** 今回の災害避難所開設について、マニュアル通りでできたのか。反省点は。

総務課長 避難勧告、避難指示等する前に自主的避難者用に開設したことはマニュアル以上の対応だった。かなりの雨量で水位も上がり避難判断水位まで到達していなかったが、もう少し早い段階での開設が必要であった。

**質問** 避難所へ避難された方はあったのか。